

# 令和3年産

# 仙台麦作情報

2021. 4. 13 第4号

宮城県仙台農業改良普及センター

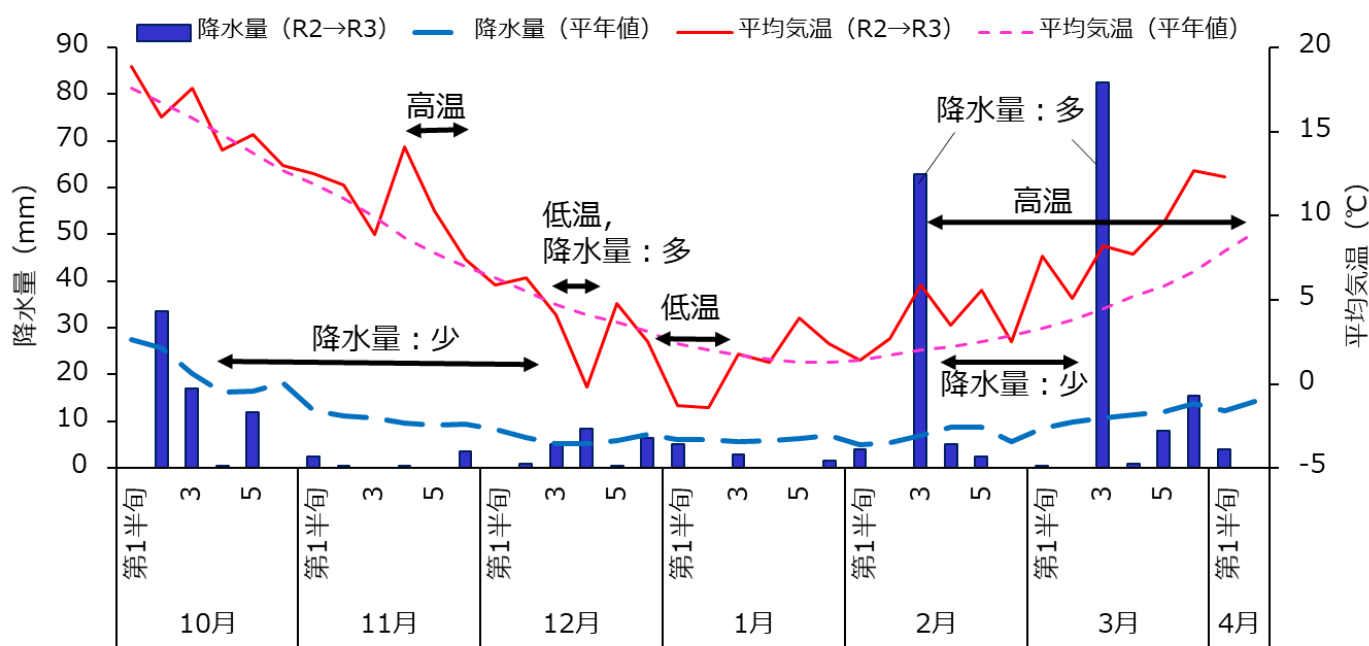
Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

## 今後の栽培管理におけるポイント

- 適期追肥の実施…麦は肥料で穫る！
- 赤かび病の適期防除…2回防除が基本！
- 排水状況の確認…湿害と赤かび病の発生助長を防ぐ！

## 1 気象経過（10月第1半旬～4月第2半旬，仙台アメダス）



### ○麦生育・栽培管理への影響

- ・10月中旬以降の少雨 → 前作の作業が順調に進んだことに加え、天候に恵まれたため適期に播種作業が行われました。出芽も良好。
- ・11月中、下旬の高温 → 生育良好。
- ・12月中旬以降の断続的な降雪 → 麦踏みの遅延（主に北部平坦地域）
- ・2月第3半旬以降の高温 → 急激に生育。

## 2 大麦生育調査結果（4月8日現在）

- ・幼穂長は仙台ほ場で2 cm を超えており，減数分裂期を迎えました。大和ほ場では，まもなく減数分裂期を迎えます。
- ・気温が高かったため生育が急激に進んでいますので，早めに幼穂長を確認し，確実に追肥を実施しましょう。

表1 生育調査ほにおける生育調査結果（令和3年4月8日調査）

ほ場 品種 (地帯区分)	播種 時期	条間	草丈 (cm)		莖数 (本/m <sup>2</sup> )		幼穂長 (cm)		減数分裂期	
			本年	前年 比%	本年	前年 比%	本年	前年差	本年 月日	前年 月日
大和町落合桜和田 ホワイトファイバー (北部平坦)	10/18	27.6	39.3	162	900	167	1.58	1.16	-	4/23
仙台市宮城野区岡田 ホワイトファイバー (仙台湾沿岸)	10/18	20.6	32.9	-	766	-	3.22	-	4/1	-
仙台市宮城野区岡田 シュンライ (仙台湾沿岸)	10/20	19.0	44.0	-	957	-	3.11	-	4/2	-

※仙台市宮城野区岡田のホワイトファイバー及びシュンライは1年目のため本年値のみ。



大和町ホワイトファイバー



仙台市ホワイトファイバー



仙台市シュンライ

## 3 今後の栽培管理

①適期追肥の実施 ～幼穂長を確認して実施しましょう～

○減数分裂期の追肥（大麦，小麦）：1穂粒数の増加，登熟の向上

- ・減数分裂期に追肥を実施しないと，その後の麦体への窒素供給量が少なくなる可能性があり，そのため1粒当たりの光合成産物の分配量が少なく，細麦化します。

- ・大麦では、追肥時期が遅れると硬質麦の発生原因となるため、幼穂長や止葉葉耳間長を観察し、適期に追肥を実施しましょう（次項以降を参照）。
- ・「ホワイトファイバー」は、もち性大麦であり、高いβ.グルカン含有率が求められます。β.グルカン含有率の低下を避けるため、減数分裂期に追肥を必ず実施しましょう。

○穂揃期追肥（小麦）：千粒重，容積重，子実たんぱく質含有率を高める

- ・小麦では、高いタンパク質含有率が求められます。品質を確保するため、追肥は幼穂形成期・減数分裂期・穂揃期の3回を基本とします。

表2 追肥の目安

麦の生育ステージ		減数分裂期	穂揃期
大麦	時期	4月上～中旬頃 (幼穂長：2～3cm)	硬質麦防止のため 実施しない
	施用量	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)	
小麦	時期	4月中旬～5月上旬頃 (幼穂長：2～5cm)	5月上～中旬頃 (ほ場の8～9割が出穂)
	施用量	窒素成分4～5kg (硫安20～24kg)	窒素成分2～2.5kg ※夏黄金はこの2倍

※時期はおおよその目安であり、今後、平年より気温が高くなる予報ですので、実際には現地ほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断しましょう。

※大豆後のほ場では、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

○幼穂長の確認方法

- 1) 生育中庸な株の、長い茎3本を選ぶ。
- 2) 茎の膨らんでいる部分を手で剥き、カッターで切る。  
※内側の葉ほど根元付近は慎重に剥く  
(勢いよく剥いてしまうと、幼穂がちぎれてしまう)。
- 3) 幼穂が茎の中心部に見られるので、定規等で計測する。



○止葉葉耳間長による減数分裂期の推定について

- ・大麦（シュンライ、ホワイトファイバー、ミノリムギなど）

→ほ場の2割程度の茎が止葉葉耳間長±0mmに達したとき

- ・小麦（夏黄金、シラネコムギなど）

→ほ場の4～5割程度の茎が止葉葉耳間長±0mmに達したとき

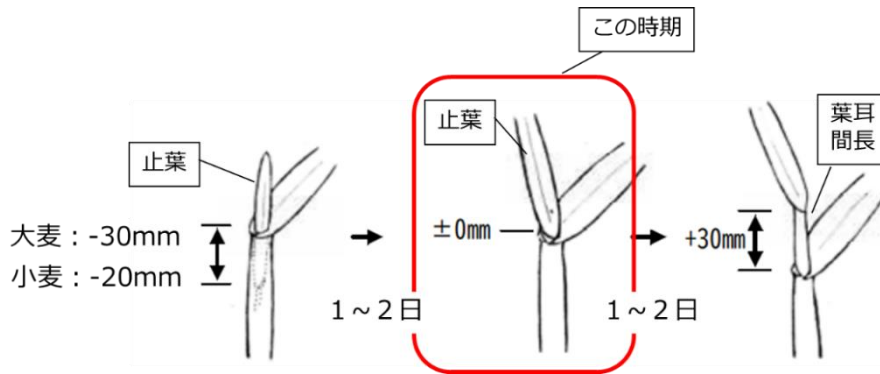


図 止葉葉耳間長の形態的推移（普及に移す技術第 81, 83 号参照）

②赤かび病の適期防除～2回防除が基本！～

麦類の赤かび病は、子実収量や品質を低下させる重要病害となっています。また、人畜に有害なかび毒を産生するため、農産物検査では食用麦の赤かび粒混入限度がかなり厳しくなっています。そのため、予防防除を徹底し、発生防止に努めましょう。

- ・防除時期…1回目（重要！）：開花始期～開花期，2回目：1回目から7～10日後  
※降雨が続く場合は、3回防除を行う（3回目：2回目から7～10日後）。
- ・「夏黄金」は、赤かび抵抗性が「中」程度なので、防除は3回行いましょう。
- ・「ホワイトファイバー」は、赤かび抵抗性が「シュンライ」と同じ「やや弱」なので、適期防除に努めましょう。
- ・ほ場の土壌水分が高いと、発生が助長されるので、排水対策を徹底しましょう。

表3 調査ほにおける出穂期及び開花期予測（4月8日現在）

ほ場	出穂期	開花期	備考
大和・ホワイトファイバー	4月25日	5月3日	大衡アメダスデータ使用
仙台・ホワイトファイバー	4月19日	4月29日	仙台アメダスデータ使用
仙台・シュンライ	4月19日	4月28日	仙台アメダスデータ使用

※普及に移す技術第 91 号参考資料「麦類の生育ステージ予測シート」を参照して作成。

※予測では、出穂から 8～10 日程度で開花期を迎えますが、今後気温が平年並か高くなる予報ですので、実際には麦の生育を確認し、防除を行いましょう。

### ③排水状況の確認

麦類は節間伸長期から登熟期にかけて、湿害に弱くなります。降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。「暗きよの再点検（閉じていないか）」「明きよの手直し」を行いましょう。

表4 麦類における生育時期別の湿害

生育時期	湿害の影響
節間伸長期～出穂期	根の機能障害、幼穂生長阻害による穂数の減少や穂の縮小化
出穂期以降	粒の充実不足による千粒重の低下、収量・品質の低下など



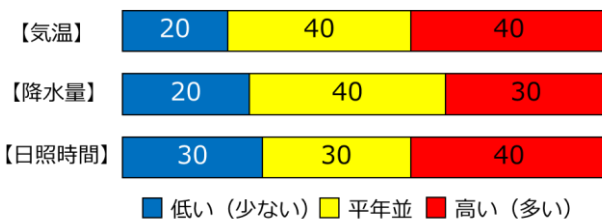
○排水環境の良い例  
額縁明きよとほ場内明きよが排水路につながっている



○手直しが必要な例  
ほ場内明きよが排水路とつながっていない

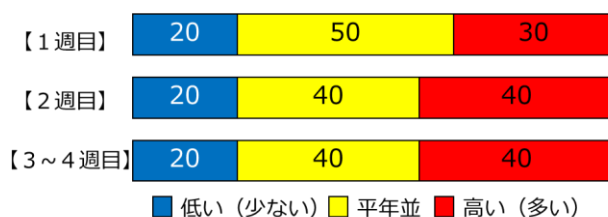
### ○1ヶ月予報（4/10～5/9，仙台湾気象台 4月8日発表）

〈向こう1ヶ月の気温・降水量・日照時間の各階級の確率（％）〉



- ・ 気温：平年並か高い予報です。
- ・ 降水量：平年並の予報です。
- ・ 日照時間：平年より高い予報です。

〈気温経過の各階級の確率（％）〉



2週目以降に気温が平年並みか高くなる見込みですので、生育を確認のうえ、適期に作業しましょう。